

# 外国語科学習指導案

福山市立神辺西中学校

- 1 日時 2018年(平成30年)11月16日(金)6校時
- 2 学年 1年1組 33名
- 3 単元名 Unit7 ブラジルから来たサッカーコーチ (New Horizon English Course 1)
- 4 単元について

単元観

本単元では、新しいALTのことをよく知るために、疑問詞(who, which, what time)などを用いたQ&Aを行うことによって、ALT自身やその出身国についてのより詳しい情報を得ることをねらいとする。ALTとのインタビューを単元末のゴールに設定することで、コミュニケーションに関する関心や意欲を高めさせながら、自然なやりとりを行うことができると考える。また、小学校の外国語活動やUnit4・5で学習したhow manyやwhatを用いた疑問文の復習も行い、これまでに学習した疑問文を実際の場面でどのように活用できるのかを体験させることに適した単元である。

学習指導要領(外国語科)の「日常な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」(話すこと[やり取り]—イ)に基づき、自分が知りたいことを整理して尋ねたり、相手や他のインタビューアの返答に適切に応じたりしながら対話を継続させ、情報や考えなどを共有することを重視している。

生徒観

本クラスは、男子19名、女子14名で、日頃からペアワークやグループワークなどの協働的な活動に意欲的に取り組んでいる。また、間違えることや失敗することがあっても、それを互いにサポートし合い、一人ひとりが授業の良い雰囲気を作ることを心がけている。1学期末に行った生徒質問紙では、「授業がよくわかる」という項目について肯定的評価をしている生徒は80%であった。しかし、2学期始めに行った授業アンケートでは「英語は苦手である」と答えた生徒は45%おり、特に「書くこと」について苦手意識を持っていたり、自信がなかったりするようであった。家庭学習については、毎日提出する復習ノートのすすめ方を工夫したり、自主勉強を追加したりする生徒の数が他のクラスより多い。しかし、継続した学習が困難な生徒も数名いる。英語検定については、5級を3名、4級を1名が取得している。

◆1学期期末試験後に行ったパフォーマンステスト：Speaking(やり取り)

○課題： レストランで自分好みのオススメ料理を食べる ○受験者数： 32名	A: つなぎ言葉などを用いながら、スムーズな流れでやり取りが成立	5名
	B+: スムーズな流れでやり取りが成立	10名
	B: なんとかやり取りが成立	12名
	B-: 途中まではできていたが、時間内にオーダーできなかった	3名
	C: やり取りが不成立	2名

上のパフォーマンステストの結果から、本クラスの生徒たちは選択肢が提示されたり、話す内容や言語の使用場面が限られたりしていれば、やり取りを成立させることができる力を持っている。しかし、相手の反応に適宜応じたり、その応答に基づいて自分から情報や考えなどを深めて発信したりすることについてはまだ練習が必要であると考えられる。

指導観	基礎・基本の定着を図り、本単元の目標を達成するために、特に次の3点を焦点化して指導する。
	(※①：基礎・基本，②主体的な学び，③21世紀型“スキル&倫理観”)
	①ALTとのインタビューで主体的に活動できるように、授業の帯活動と家庭学習の両方で、疑問文の作り方とその答え方を繰り返し復習させる。
	②事前に準備したメモ（ALTについて知りたいことリスト）を基にインタビューを行うことで、「整理する」「伝える」「応答する」という3つの活動を効果的につなげる。
	③単元末のパフォーマンステストにおいて、「習ったことを実際に使うことができた」、「自分が尋ねてみたいことをALTに質問することができた」、など課題解決ができたことに対する達成感をもたせる。

## 5 単元目標

- 【表】相手のことや身の回りの事柄についてより詳しい情報を得るための質問をする。
- 【コ】間違いを恐れず、自分の尋ねてみたいことを知るために積極的に質問をする。
- 【知】疑問詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法について理解する。

## 6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語・文化についての知識・理解
①間違いを恐れず、自分の尋ねてみたいことを知るために積極的に質問しようとしている。	①相手のことや身の回りの事柄についてより詳しい情報を得るための質問をすることができる。	/	①疑問詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身につけている。

## 7 本校で身に付けさせる21世紀型“スキル&倫理観”（※太枠：本単元での重点項目）

課題発見・解決能力	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション能力
自ら課題を発見し、身に付けた技能や既習事項を生かしながら、筋道を立て課題を解決しようとする力が身に付いている。	課題を解決するために既習事項を生かし、対話を通じて、互いの相違点を理解し、深い学びを目指すことができる。	自己と他者の違いを受け入れ、協働しながら課題を解決し、よりよい生活を目指し続けようとしている。

## 8 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	ALTの紹介についての新聞を書くために、積極的に問答を行い、相手や他のインタビュアーの反応や返答に応じながら、対話を継続・発展させることができる。
目指す発話例	A, B : students      C : ALT <<対話例①>> A : Excuse me. B : We have some questions. C : OK. A : Do you know Japanese anime? C : Yes, I do. B : Oh, really? What Japanese anime is popular in Singapore?

	<p>C : DRAGON BALL is very popular.  A : What's your favorite Japanese anime?  C : My favorite is ONE PIECE.  B : Me, too. Which do you like, Zoro or Sanji?  C : I like Sanji. How about you?  B : I like Zoro. He has blue hair. He is really cool.</p> <p>《対話例②》</p> <p>A : Excuse me.  B : We have some questions.  C : OK.  A : Do you come to our school by bike?  C : No, I don't. By train.  How do you come to school?  A : On foot.  B : What time do you usually leave home?  C : I leave home at seven thirty.  A : Do you eat breakfast every morning?  C : Yes, I do.  B : What do you have for breakfast?  C : I have some fruits and yogurt. How about you?  B : I have rice and miso soup.  A : I have toast and milk.</p>
--	---

9 小学校外国語活動を踏まえた指導の工夫

①簡単な語句や基本的な表現を用いて、その場で質問をしたり質問に答えたりして伝え合う。

②関連する言語材料

We Can 1, 2	We Can 1, 2 → 中学校	中学校
<p>《We Can 1 : Unit4》  ○What time do you get up?  ○I get up at six.</p>	<p>一日の日課について尋ねる&amp;答える  →頻度を表す副詞や一般動詞の種類を増やし、一日の日課について尋ねる&amp;答える  ある場所の時刻について尋ねる&amp;答える</p>	<p>○What time do you usually leave home?  ○I usually leave home at about seven thirty.  ○What time is it in London now?  ○It's eight a.m. there.</p>
<p>《We Can 1 : Unit9》  ○Who is your hero?  ○This is my hero.  She / He is~.</p>	<p>あこがれの人を尋ねる&amp;説明する  →好きな人(歌手・俳優など)を尋ねる&amp;理由を付けるなどして詳しく説明する</p>	<p>○Who is your favorite soccer player?  ○My favorite soccer player is Yuya Osako.  He is very tough and cool.</p>

10 単元計画 (全8時間)

時	目標 (◆), 発話量の目安 (*) など	評価規準 [評価方法]
1 ・ 2	◆単元末のパフォーマンス課題について説明する。 ◆これまでに学習した疑問文(Are you ~?, Do you ~?, What club are you in?, What fruit do you like?など)の形・意味・用法について復習する。	エー① [ワークシート]
3	◆「どちらが～か?」ということを探ねたり, 質問に答えたりすることができる。 (* 3往復程度) A, B: students C: teacher役になった生徒 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             A: I want ● and ■. (←欲しい物を2つ言わせる)              What do you want?              C: I want ▲ and ◆. (←2つ答えさせる)              A: Which do you want for your birthday,              ▲ or ◆?              C: I want ▲ / ◆ for my birthday.              A: 一言コメント              B: I like ○ and □. (←食べ物を2つ言わせる)              What food do you like?              C: I like △ and ◇. (←2つ答えさせる)              B: Which do you want for dinner today,              △ or ◇?              C: I want △ / ◇ for dinner.              B: 一言コメント           </div>	イー① [観察・カルテ]
4	◆互いの1日の日課について探ねたり, 質問に答えたりすることができる。 (* 2～3往復程度) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             A: How are you?              C: I'm tired.              B: What time do you usually go to bed?              C: I usually go to bed at about twelve.              B: Too late.              A: Do you eat breakfast every morning?              C: Yes, I do.              A: Oh, that's good.           </div>	イー① [観察・カルテ]
5	◆友達についての情報を収集するために, 積極的に問答を行おうとする。 (* 2～3往復程度) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             A: Do you like ○○?              C: No, I don't.              A: Oh, I see.              How about △△? Do you like △△?              C: Yes, I do.              B: What's your favorite △△?              C: My favorite △△ is ◇◇.              B: 一言コメント           </div>	アー① [観察・カルテ]
6 ・ 7	【 本時 】 ◆友達について, 知っている情報をもとに, さらに詳しい情報を収集するための問答を積極的に行おうとする。 (* 2～3往復程度) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             A: You like playing sports, right?              C: Yes.              A: What's your favorite sport?              C: My favorite sport is baseball.              A: 一言コメント              B: Who is your favorite baseball player?              C: My favorite player is Takahiro Arai.              B: 一言コメント           </div>	アー① [観察・ワークシート]

8	◆ALT自身やALTの出身国についてより詳しい情報を得るための問答をすることができる。	イー① [パフォーマンステスト]
後日	◆収集した情報をもとに、ALT自身やALTの出身国についてより詳しい情報を伝えるための新聞を作成することができる。	アー① [新聞]
後日	◆疑問詞を含んだ文とその答え方の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。	エー① [単元末テスト・期末テスト]

## 1 1 本時の学習

### (1) 本時の目標

○友達や先生についての詳しい情報を収集するための質問を積極的にしようとする。

### (2) 本時の評価規準

○間違いを恐れず、自分の尋ねてみたいことを知るために積極的に質問しようとしている。

(関心・意欲・態度)

### (3) 本時の学習展開

時	学習活動	指導上の留意事項	評価規準, 方法
8分	<p>1 Warm-up</p> <p>《 Small Talk 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアごとに1分間、与えられたテーマについて話をする。</li> </ul> <p>《 Welcome to TNB(Q&amp;A 編) 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアごとにワークシートを使って、1分間Q&amp;Aを行う。</li> </ul>	<p>○相手の言ったことに相づちをうつなどの反応を心がけさせ、楽しく英語を話す雰囲気を大切にさせる。</p> <p>○スムーズに答えられる生徒は1文ではなく、プラスαを付けられるように声をかける。</p> <p>○質問に答える際に文で答えることが難しい場合は、単語でもよいから英語で答えさせ、日本語を使わないことを意識させる。</p>	
7分	<p>2 Review</p> <p>《 基本文インプット 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な種類の疑問文の作り方を確認する。</li> </ul>	<p>○既習事項をスムーズに使えるように、パワーポイントを用いて口頭練習を行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Are you into anime?</li> <li>・ Do you like Japanese food?</li> <li>・ What's your favorite comic?</li> <li>・ Who is your favorite athlete?</li> </ul> </div>	
2分	<p>3 学習課題の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいを確認する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>~Mission Possible~ 目指せ、名インタビューアー! (友達編)</p> </div>	

<p>30分</p>	<p><b>4 Activity</b></p> <p>《 Let' s Try① 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3人1組で、interviewer（2人）と interviewee（1人）の役に分かれる。</li> <li>・ interviewer は、2分間で自分が相手について知りたいことを質問し、interviewee はその質問に答える。</li> <li>・ interviewer, interviewee とともに、つなぎ言葉なども入れながら、やり取りを行う。</li> </ul> <p>《 Let' s Try② 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流したことを踏まえて、2人目のインタビュー（3分間）を行う。</li> </ul> <p>《 Let' s Try③ 》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流したことを踏まえて、3人目のインタビュー（3分間）を行う。</li> </ul> <p>・ 代表グループがクラスの前で発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今回の会話の始まりは、「君は〇〇が好きだよな？」と相手への確認から始めさせ、さらに詳しい情報を収集させる。</li> <li>○ 基本文インプットや Q&amp;A など練習した内容がインタビューに生かせることを気付かせる。</li> <li>○ 1人目のインタビューが終わったら、どんなことを意識して質問しているかなどを発表させ、クラス全体で交流を図る。</li> <li>○ 2人目のインタビューでは、メモをとるためのワークシートを持たせる。</li> <li>○ 2人目のインタビューが終わったら、もう一度全体で交流させ、どのようにメモをとったらよいか、どのような内容の質問をどのような流れで尋ねることが「名インタビュアー」なのかを考えさせる。</li> <li>○ 3人目のインタビューを行う前に、自分が質問してみたいことのメモをワークシートに書かせる。</li> <li>○ Let' s Try①・②から学んだことを生かして、やり取りを行うように声をかける。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : Excuse me.  B : We have some questions.  C : OK.  A : You like <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">animals</span>, right?  C : Yes.  B : Me, too.  Do you have any pets?  C : No, I don't.  But I want some pets.  A : Which do you want, dogs or cats?  C : I want dogs.  B : What's your favorite dog?  C : My favorite is toy poodle.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 質問の内容を深めることができたり、つなぎ言葉などを使ってやり取りがスムーズにできていたりするグループに、本時のモデルダイアログとしてクラスの前で発表させる。</li> </ul>	<p>アー①</p> <p>【観察、カルテ】</p>
------------	--	---	----------------------------

3 分	<p>5 まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カルテを記入する。</li> </ul>	<p>○振り返りカードの記入によって、ALT と行うパフォーマンス課題に向けての目標を持たせたり、授業内容を家庭学習とリンクさせたりする。</p>	
--------	---	---	--

#### (4) 準備物

○プロジェクター    ○スクリーン    ○パソコン    ○ワークシート    ○タイマー

#### 1 2 パフォーマンステスト (ALT とのやり取り)

評価の観点	関心・意欲・態度【本時】	表現その1	表現その2
A	間違いを恐れず、習ったことやつなぎ言葉を積極的に使って、やり取りを続けようとしている。	○新聞の原稿の基になる情報を収集するために、自分が知りたいことを5つ以上質問することができる。	○interviewee の返答に応じて、自分が得た情報や自分以外の interviewer が聞き出したことなどを基に、その内容を深めるための質問をすることができる。
B	間違いを恐れず、習ったことを積極的に使って、やり取りを続けようとしている。	○新聞の原稿の基になる情報を収集するために、自分が知りたいことを3つ以上質問することができる。	○interviewee の返答に応じて、質問することができる。
C	自ら積極的にやり取りを続けようとしていない。	○新聞の原稿の基になる情報を収集するために、自分が知りたいことを3つ以上質問することができない。	○interviewee の返答に応じて、質問することができない。